

町会報

えひめ

2018
10
Vol.115

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



Contents

議長研修会及び東日本大震災被災地復興状況視察	2
第3回議長会全員協議会	3
第59回四国地区町村議会議長会研修会	3
町村議会広報研修会	4
町の伝統行事	4
災害共済関係事業の加入推進打合せ	5
本県の市町の基準財政需要額その他	6~7
お知らせ[新議長紹介]	8
一筆 / 10月の行事	8

久万高原町「久万林業まつり」

林業のまち久万高原町ならではのイベント「久万林業まつり」が、毎年10月にB&G海洋センター・久万公園などで開催されます。

森林や林業を身近に感じてもらうため、林業総合資料展を開設するとともに、おまつり広場では、地元の住民やグループ、企業などによる高原野菜や果物、加工品、地域特産品や食品などの販売をします。久万広域森林組合による親子木工広場は、親子で木に触れ合いながら久万材を使って3段ボックスなどの製作ができ、特に人気のブースです。

宮城県七ヶ浜町・利府町視察研修を実施

愛媛県町村議会議長会

愛媛県町村議会議長会は、別掲の市町村アカデミー研修の前日、10月10日に宮城県七ヶ浜町と利府町において視察研修を行った。

▼七ヶ浜町

さきの東日本大震災から7年余が経過し、甚大な被害を受けた七ヶ浜町の被災状況と復興状況などを視察した。

四国地方は、東南海・南海地震の発生が懸念されるほか、本年7月には記録的な豪雨による未曾有の大惨事に見舞われたことから、大規模な自然災害に備えなければならないと計画したもの。

研修会では、はじめに七ヶ浜町の寺澤薫町長や大町睦夫議長からあいさつをいただいた後に、復興推進課から「東日本大震災復興状況」につ

いて説明を受けるとともに、町内視察を行った。

自然災害を防ぐことは不可能であるが、大切な命を守り、被害を少なくするために何ができるかということと、日ごろから住民と行政や議会が一体となつて考え備えていくことの必要性を深く考えさせられた研修であった。

▼利府町

こんにち地方分権の進展や地方自治法が改正される中で、全国の地方議会でもさまざまな「議会改革」が行われており、本県においても同様の動きがある。

そこで、先進議会の取り組みや議会広報などを研修し、今後の議会改革に向けての一助にしたいと、議会改革と議会広報の先進地、宮城県利



七ヶ浜町



利府町

府町議会を視察研修した。

研修会では、はじめに、櫻井正人議長（全国会・宮城県会長）から歓迎のあいさつをいただいた後に①利府町議会の概要、②議会活性化への取り組み、③「議員定数及び議員報酬等調査委員会」調査報告書、④常任委員会所管事務調査実績、⑤平成30年度議会報告会実施報告書、⑥「りふ議会だより」、⑦「りふ議会だより」の編集方針・ページ構成等、編集スケジュール及び掲載記事振りなどについて議会運営委員長や議会広報常任委員長等から説明があり、意見交換を行った。

議会の改革や運営にベストはないが、いずれにしても住民代表の議事機関としての議会の役割について再

議長研修(市町村アカデミー)研修セミナー(受講)を実施

愛媛県町村議会議長会

愛媛県町村議会議長会は、(公財)愛媛県市町振興協会の助成を受け、毎年、議長研修として市町村アカデミーまたは国際文化アカデミーの議員セミナーを受講することとしており、本年度は次のセミナーを8町議長が受講した。

◆とき 平成30年10月11日(木)13:00～10月12日(金)12:20まで

◆ところ 市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)

千葉市美浜区浜田1丁目1番

●10月11日(木)

13:30～15:00

「想像を超える創造」を生む特色ある地域づくり」

認識し、開かれた議会・議会の活性化に向けて有意義な研修であった。



NPO法人グリーンバレー理事

大南 信也 氏

15:15～16:45

「地方議会と議会改革」今求められる議会の役割」

法政大学副学長・法学部教授

廣瀬 克哉 氏

●10月12日(金)

9:00～10:30

「持続可能な地域公共交通」

東洋大学国際学部教授

岡村 敏之 氏

10:45～12:15

「災害対応力の向上」カギは現場力」

元全国市長会会長(前長岡市長)

森 民夫 氏

内子町で議長会第3回全員協議会 優良議会に 内子町議会を推薦

愛媛県町村議会議長会は、10月4日内子町役場内子分庁4階委員会室で、「平成30年度第3回全員協議会」を開催した。

会議には、県内8町議会議長が出席し、次のとおり進められた。

1 開 会

あいさつ
程内会長
稲本内子町長

2 説 明

「内子町の概要」

3 議 事

(1) 会議録署名人の指名
程内会長が議長となつて次のとおり指名した。

(2) 報 告
松崎砥部町議長
加藤松野町議長

(1) 行事関係について



前回の全員協議会からの行事について事務局から説明があり、一同了承した。

(2) 平成30年7月豪雨災害に関する義捐金について

全国会や各県議長会から寄せられた義捐金と配分方法について事務局から説明があり、一同了承した。

5 協 議

(1) 全国町村議会議長会町村議会表彰について

事務局から説明があり、協議の結果、本年度は内子町議会を推薦することに決定した。

(2) 第59回四国地区町村議会議長会研修会について

(3) 平成30年度議長研修会について及び東日本大震災被災地復興状況視察について

(4) 第62回町村議会議長全国大会について

3題を一括議題とし、それぞれ事務局から説明があり、協議の結果、原案のとおり参加することに決定した。

(5) その他

(1) 次回全員協議会について
次回全員協議会の開催期日は、正副会長に一任することに決定した。

(2) 次期知事選挙に関する意見交換が行われた。

(3) その他

事務局からハロウィンジャ

ン宝くじのPRと販売促進の依頼を了承した。
なお、協議終了後、内子町産業振興課の案内により次のとおり町内を視察した。

- 町並保存センター
- 上芳我邸
- 町並散策
- 内子座
- 道の駅フレッシュパークからり

第59回四国地区町村議会議長会研修会を開催 四国地区町村議会議長会

恒例の四国地区町村議会議長会研修会が、今年は高知県当番により、10月18日高知市の高知県民文化ホール（オレンジホール）で開催され、四国各地から町村議会議員ら約525名（本県関係は144名）が出席し盛大に開催された。

研修会は、定刻午後1時に開会。はじめに四国地区会長である川村高知県会長が開会の挨拶を述べた後に、自治功労者の表彰に入り、町村議会議員として19年以上在職し、地方自治の振興に寄与された本県玉井春鬼久万高原町議員をはじめ43名の方々に対する四国地区町村議会議長会表彰が行われた。

次に講演に入り、ジャーナリスト・ノンフィクション作家の門田隆将先生から「既存メディア総崩れで日本のジャーナリズムはどこへ行く？」政治評論家の加藤清隆先生から「政権の課題と展望」日本周辺で何が起きているか？」と題する講演があり、これを聴講。

最後に次期当番県の高橋徳島県会長が閉会のことばを述べ、午後4時35分に閉会した。

なお、本県受賞者は次のとおり。

（敬称略）

久万高原町 議長 瀧野 志
同 議員 玉井 春鬼



本県受賞者代表 久万高原町玉井春鬼議員

松前町議員	伊賀上明治
砥部町議員	三好 勝利
内子町議員	井上 洋一
同 町議員	山崎 正史
同 町議員	中田 厚寛
同 町議員	菊池 孝平
同 町議員	中村 敏彦
同 町議員	小泉 和也
同 町議員	山崎 保
同 町議員	那須 芳人

町村議会広報研修会 開かれる

久万高原町から7人が参加

全国町村議会議長会主催による、「平成30年度町村議会広報研修会」が10月9日東京都のシェーンバッハ・サボーで開催され、全国の議会広報編集委員等（約950人）が出席した。

この研修会は、議会活動に対する住民の関心と理解を深めるため、議会広報実務担当者を対象とした研修及び意見交換の場を設け、議会広報の発展に資することを目的に、毎年



開催されている。

研修会は、別掲の日程により開催され、「読み手に伝わる文章の書き方」について、朝日新聞メディアプロダクション校閲事業部長の前田安正氏に、「デザインの力で、もっと伝わる議会広報誌に」について、株式会社コンセントアートディレクターの筒井美希氏から、「町村議会広報全国コンクール最優秀賞及び優秀賞（総合2位）作に見る光彩を放つ編集力」について、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏から講演があった。

なお、本県からは久万高原町議会広報編集委員ら7人が参加した。

平成30年度町村議会広報研修会日程

■10月9日(火)

◎講演

「読み手に伝わる文章の書き方」

朝日新聞メディアプロダクション校閲事業部長

前田 安正 氏

「デザインの力で、もっと伝わる議会広報誌に」

株式会社コンセント アートディレクター

筒井 美希 氏

「町村議会広報全国コンクール最優秀賞及び

優秀賞（総合2位）作に見る光彩を放つ編集力」

グラフィックデザイナー

長岡 光弘 氏

各町の伝統行事！

松前町

はんぎり競漕

（まさき町夏祭り）

●場所／塩屋海岸

●実施時期／毎年8月第1土曜日

【概要】

まさき町夏祭りのイベントの一つとして、はんぎり競漕。を塩屋海岸で開催しています。はんぎり競漕は、海上に大きな「たらい」を浮かべ、体を前後に動かして漕ぐことで前に進み、その速さを競う全国的にも珍しい競技です。文禄年間に漁夫が、伝馬船代わりに「はんぎり」という木のたらいを使い、競って沖を漕ぎ渡ったことが由来とされ、古くから松前の海の伝統行事として守り継がれてきました。大きなたらいを巧みに乗りこなし、勇ましく漕ぎ進む姿は、松前町の夏の風物詩となっています。



義農祭

●場所／義農公園

●実施時期／毎年4月23日

【概要】

享保の大飢饉の際、自らの命と引き換え、麦種を後世に残した義農作兵衛翁の遺徳をしのび、作兵衛翁の「私」より「公」を、「己」より「他」を大切にする、義農精神を後世に受け

たわわ祭

（松前町産業まつり）

●場所／まさき村店舗前駐車場

（エミフルMASAKI敷地内）

●実施時期／毎年11月中の2日間

【概要】

「恵み、めぐるまち、まさき」の商工水産の恵みが結集するイベントとして、たわわ祭（まさき町産業まつり）を開催しています。

会場では、特産品などの展示販売をはじめ、飲食店の実演販売、企業展、ステージパフォーマンスが行われ、バラエティに富んだ内容となっております。

子どもから大人まで松前町の魅力を実感し、楽しめるイベントとなっております。大勢の人で賑わっています。



継ぐため、毎年4月23日に義農祭を開催しています。



平成30年度災害共済関係事業の 加入推進打合会を開催

愛媛県町村会・全国町村職員生活協同組合愛媛県支部では、10月26日、愛媛県自治会館会議室で「平成30年度災害共済関係事業の加入推進運動等実施に伴う事務打合会」を開催し、加入団体の担当職員14名が出席した。打合せの内容は次のとおり。

- ・公有自動車・生協自動車事務処理査定事務について
- ・愛媛県町村共済自動車事故処理対策分室 査定専門員から説明
- ・その他・質疑応答
- ・閉会



- ・全国自治協会災害共済事業の概要及び加入推進について
- ・一般財団法人全国自治協会 公有物件課長 田中 隆三氏
- ・全国町村職員生活協同組合共済事業の概要及び加入推進等について
- ・各共済事業の留意事項について
- ・事務局担当職員から説明
- ・各保険会社から
- ・損保ジャパン日本興亜(株)
- ①総合賠償補償保険事業
- ②災害対策費用保険事業
- ③全国町村職員生活協同組合事業(車両共済)
- ④特定疾病保険事業
- ⑤非常勤職員公務災害補償保険事業
- ⑥自治会活動保険事業
- 三井生命保険(株)
- ①団体生命(弔慰金)事業
- 日本生命保険相互会社
- ①全国町村等職員任意共済保険事業(生命保険・医療保険・収入補償保険)
- ②全国町村等職員個人年金保険事業



◎各共済等引受保険会社

事業名	保険会社名	住 所	TEL	FAX	備考
団体生命(弔慰金)共済	三井生命保険株式会社 (愛媛支社)	〒790-0001 松山市一番町4-1-1 三井生命ビル5F	089-941-3432	089-934-1331	
総合賠償補償保険 災害対策費用保険	損害保険ジャパン日本興亜(株) (愛媛支店 法人支社)	〒790-0011 松山市千舟町4-6-3 アヴァンサ千舟5F	089-943-1917	089-933-9582	加入関係
	損害保険ジャパン日本興亜(株) (松山保険金サービス課)	〒790-0011 松山市千舟町4-6-3 アヴァンサ千舟6F	089-946-0044	089-932-0121	事故関係
職員自動車車両共済 ホームページアドレス http://www.chisato-ag.co.jp	(株)千里(ちさと) (取扱代理店)	〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内	0120-731-087	03-3519-7325	加入関係
	損害保険ジャパン日本興亜(株) (事故サポートデスク) (松山保険金サービス第二課)	〒790-0011 松山市千舟町4-6-3 アヴァンサ千舟6F	0120-256-110 089-946-0360	089-932-6191	事故関係
全国町村等職員任意共済保険 全国町村等職員個人年金共済	日本生命保険相互会社 (松山支社)	〒790-0001 松山市一番町3-3-3 菅井ニッセイビル3F	089-941-9591	089-941-9589	加入関係
	日本生命保険相互会社 (団体保険支払サービス課)	〒541-8501 大阪市中央区今橋3-5-12	0120-302-438		請求関係
特定疾病保険	(株)千里(ちさと) (取扱代理店)	〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内	0120-797-978	03-3519-7325	加入関係
	損害保険ジャパン日本興亜(株) (愛媛支店 法人支社)	〒790-0011 松山市千舟町4-6-3 アヴァンサ千舟5F	089-943-1917	089-933-9582	加入関係
	損害保険ジャパン日本興亜(株) (医療保険安心サポートセンター)	〒163-0519 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル26階	0120-668-309		請求関係
非常勤職員公務災害補償保険	損害保険ジャパン日本興亜(株) (愛媛支店 法人支社)	〒790-8691 松山市千舟町4-6-3 アヴァンサ千舟5F	089-943-1917	089-933-9582	加入関係
	損害保険ジャパン日本興亜(株) (松山火災新種保険金サービス課)	〒790-8691 松山市千舟町4-6-3 アヴァンサ千舟6F	089-946-0044	089-932-0121	事故関係
自治会活動保険	四国ジャパン株式会社 (損保ジャパン日本興亜代理店)	〒790-0011 松山市千舟町4-5-4 松山千舟454ビル6F	089-921-5338	089-933-8688	加入 事故関係

※(一財)全国自治協会 災害共済事業 ホームページアドレス <http://www.zzjk.jp/>

※全国町村職員生活協同組合 ホームページアドレス <http://www.zcss.jp/>

本県市町の基準財政需要額その他

本県の市町の平成30年度基準財政需要額、基準財政収入額、普通交付税決定額及び財政力指数・標準税収額等は次のとおり。

財 政 力 指 数 ・ 標 準 税 収 入 額 等

区 分 団 体 名	財 政 力 指 数				標準税収入額等
	28 年 度	29 年 度	30 年 度	3 ヶ 年 平 均 (28~30)	
松 山 市	0.759	0.762	0.773	0.765	79,480,705
今 治 市	0.547	0.541	0.554	0.547	25,620,583
宇 和 島 市	0.333	0.336	0.338	0.336	9,470,428
八 幡 浜 市	0.347	0.339	0.342	0.343	4,184,218
新 居 浜 市	0.780	0.763	0.774	0.772	20,565,787
西 条 市	0.696	0.677	0.681	0.685	18,216,317
大 洲 市	0.360	0.360	0.364	0.361	5,748,833
伊 予 市	0.422	0.423	0.425	0.423	4,659,919
四 国 中 央 市	0.761	0.764	0.752	0.759	17,142,548
西 予 市	0.244	0.245	0.247	0.245	4,179,515
東 温 市	0.527	0.505	0.508	0.513	4,957,879
市 計					194,226,732
上 島 町	0.164	0.154	0.155	0.158	726,302
久 万 高 原 町	0.175	0.173	0.177	0.175	1,124,473
松 前 町	0.777	0.784	0.773	0.778	5,039,763
砥 部 町	0.455	0.459	0.446	0.453	2,474,611
内 子 町	0.263	0.266	0.270	0.266	1,941,260
伊 方 町	0.528	0.557	0.542	0.542	3,012,755
松 野 町	0.170	0.166	0.169	0.168	401,000
鬼 北 町	0.223	0.226	0.230	0.226	1,160,984
愛 南 町	0.222	0.216	0.220	0.219	2,319,126
町 計					18,200,274
県 計					212,427,006

普 通 交 付 税

(単位：千円)

区 分 団 体 名	基準財政需要額	基準財政収入額	財 源 不 足 額	普通交付税決定額	臨時財政対策債 発 行 可 能 額
松 山 市	80,733,265	61,904,707	18,828,558	18,750,391	8,264,677
今 治 市	37,257,968	19,844,244	17,413,724	17,377,649	2,427,283
宇 和 島 市	22,489,049	7,417,321	15,071,728	15,049,955	1,153,840
八 幡 浜 市	9,730,631	3,286,312	6,444,319	6,434,898	513,934
新 居 浜 市	20,729,006	15,996,462	4,732,544	4,712,474	1,886,612
西 条 市	21,460,543	14,205,481	7,255,062	7,234,284	1,788,052
大 洲 市	12,784,159	4,572,292	8,211,867	8,199,490	679,507
伊 予 市	8,978,741	3,675,415	5,303,326	5,294,633	531,654
四 国 中 央 市	18,307,607	13,320,461	4,987,146	4,969,420	1,527,219
西 予 市	13,862,768	3,337,430	10,525,338	10,511,916	604,174
東 温 市	7,751,262	3,872,592	3,878,670	3,871,165	509,775
市 計	254,084,999	151,432,717	102,652,282	102,406,275	19,886,727
上 島 町	3,839,446	578,250	3,261,196	3,257,479	160,675
久 万 高 原 町	5,129,674	892,666	4,237,008	4,232,042	205,955
松 前 町	5,090,751	3,933,313	1,157,438	1,152,509	477,407
砥 部 町	4,373,187	1,968,388	2,404,799	2,400,565	291,815
内 子 町	5,876,451	1,543,202	4,333,249	4,327,560	262,714
伊 方 町	4,520,618	2,314,193	2,206,425	2,202,048	208,895
松 野 町	1,927,224	324,779	1,602,445	1,600,579	79,211
鬼 北 町	4,060,394	925,435	3,134,959	3,131,028	178,409
愛 南 町	8,647,286	1,844,489	6,802,797	6,794,424	367,543
町 計	43,465,031	14,324,715	29,140,316	29,098,234	2,232,624
県 計	297,550,030	165,757,432	131,792,598	131,504,509	22,119,351

(注) 1 基準財政需要額及び基準財政収入額は、錯誤措置後のものである。

2 各地方局計は、町分のみを集計である。

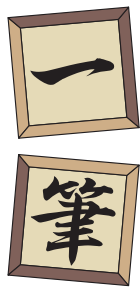
3 30年度の調整率は、0.000968214である。

新議長紹介

10月29日の上島町議会臨時会において議長の選挙が行われ、池本光章氏が就任された。

上島町議会議長

池本光章氏



皆が人間らしく

金木犀の橙黄色した小粒の花びら群がいつの間にか落ち、あの芳香も消えてしまった。昨日のこのような暑さから、早くも秋探しの時季。さて、古今東西、人類は昔から不老長寿を願うその秘薬を探し求めてきた。その道半ば？かも知れないが、我が国は世界に先駆けて長寿を手に入れ、超高齢者社会になった。しかし、現実には、負も併せてついて来た。少子化、生産労働人口減、産業経済の鈍化、社会全体が動から静への流れは、自然である。例えば100m

走を若い時代に12秒で疾走したと粹がろうとも高齢になれば、強力な補完がなければゆっくり歩かざるを得ない。既に体力そのものが別段の世界に入っているのだ。

これからは、邁進してきた特急時代の社会再来でなく、派手社会から縮小社会への移行は如何であろうか。身の丈に合った社会環境に順応することも一策であり賢明であろう。維持せんがため、今話が出ている他国からの人力は、あくまで最低限で臨むべきではなからうか。良心の力を求め合致させることは難しい。一定の線以上を望むことは、平穏な社会に物議を醸し出すような気配を感じる。諸外国からその個性と人間性など特に賞賛を受けてきたわが国の「国民性」は、他者との共生が極めて上手くない。如何なる事があっても、まず平穏な環境を次世代へ繋ぐねばならない。

現世、意に反するような横道に反れた常識外のあらゆる事案・事象も縮小することによって、軌道修正は可能である。一見頂上を維持し、色彩豊かにぎやかであろうとも混乱しては、発展どころか先々收拾不可能、違った方向へ進化しそうである。現行過疎法は、平成32年度期限切れとなるが、「限界集落」（高齢者が集落の50%を超え、社会的共同生活の維持が困難）は、多くが「消滅集落」と近づきつつある現状。識者曰く「限界集落や過疎地域こそ、むしろ人間らしく生きるための、これらの希望の場所なのではないか。」

は、引き続き大切にしたい。縮小されようとも、「人間らしく生きる」そのための方策こそ地域再生に繋がり、我が国の再生に必要な新基盤づくりとなる。次期「新過疎法」は、時代に逆らわず流れを呼び込み、地域

に合った策を望みたい。

秋、枯葉によって一時は寂しげな木々であるが、冬季の寒さを凌いで、春には新芽を出し青々と茂る。超高齢社会の構成は、上でなく平穏にある。皆が、人間らしく生きる。ことこそ終着である。

(T)

「私は、悲劇を愛する。私は悲劇の底になにかしら美しいものがあるからこそ、悲劇を愛するのだ」

(チャップリン 映画俳優)

10月の会と催し

- ▽3日 全国町村議会議長会連絡調整会議、全国町村監査委員協議会幹事会
- ▽4日 第66回愛媛県社会福祉大会、東京2020オリンピック聖火リレー愛媛県実行委員会設立総会及び第1回実行委員会、平成30年度「小・中学生のふるさと学習作品展」事業特別賞等作品審査会、中国・四国地区退職手当事務連絡会議、愛媛県町村議会議長会第3回全員協議会
- ▽5日 愛媛県町村議会議長会内子町内視察
- ▽9日 平成30年度町村議会広報研修会、平成30年度愛媛県人口問題総合戦略推進会議
- ▽10日 愛媛県町村議会議長会東日本大震災被災地復興状況視察、平成30年度地方自治制度講習会(11日まで)
- ▽11日 市町村議会議員特別セミナー(12日まで)、平成30年度第1回愛媛県保健医療対策協議会
- ▽12日 愛媛県自治会館建設検討委員会 第1回検討委員会
- ▽16日 愛媛県介護保険審査会(審査会議)
- ▽17日 第143回愛媛県都市計画審議会、平成30年度町議会事務局職員研修会
- ▽18日 全国山村振興連盟平成30年度第2回理事會、えひめスポーツ推進県民会議(第1回会議)、公平事務説明会、第59回四国地区町村議会議長会研修会並びに平成30年度第2回町議会議員研修会
- ▽19日 平成30年度愛媛県地方公務員協議会、G20愛媛・松山労働雇用大臣会合推進協議会設立総会及び第1回総会、全国町村会理事會・都道府県町村会長會、全国町村会政務調査会
- ▽23日 全国町村議会議長会正副会長會、同理事會、第27回愛媛農林水産賞贈呈式、愛媛県発明協会創立80周年記念講演會 記念式典・四国地方発明表彰式
- ▽24日 全国町村議会議長會都道府県會長會
- ▽25日 平成30年度消防団員等公務災害補償等全国研修會、愛媛県自治會館建設検討委員會、全国過疎問題シンポジウム2018 in しまぐち(26日まで)
- ▽26日 平成30年度災害共済関係事業の加入推進運動等実施に伴う事務打合せ
- ▽27日 平成30年度「小・中学生のふるさと学習作品展」表彰式
- ▽28日 サイクリングしまなみ2018
- ▽30日 「部落差別解消推進法」の完全実施並びに「人権侵害救済法」の早期制定を求める第46回「愛媛中央集會」、四国四県市町村振興協會事務連絡會議
- ▽31日 一番町自転車マナーアップ作戦會議(第1回)